

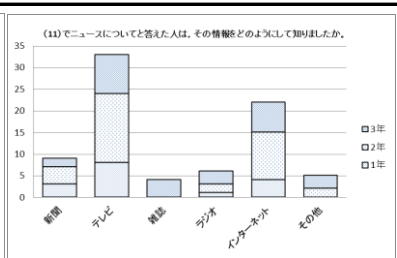
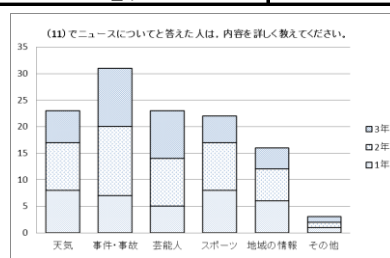
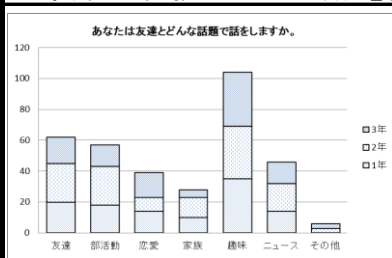
新聞アンケートの結果②

先週に続いて、アンケート結果から。友達との会話内容は、「趣味」(ゲームのことでしょうか・・・)が一番多く、続いて「友達」や「部活動」についてが共通の話題として多かったようです。

続いて多かった「ニュース」については、さらに詳しく中身を聞くと、「事件・事故」が一番多く、続いて「芸能」、「天気」、「スポ

ーツ」の順で、意外と社会の出来事に関心が高いことがうかがえます。その情報をどうやって知ったか?の問いには、テレビとインターネットが圧倒的に多いという結果になりました。

今後、NIEの活動をとおして、生徒の興味・関心の幅を広げたり、情報収集の手段も増やしていければと思います。



気になる記事コーナー5

読売新聞 9月17日(火)の記事

今回、紹介する記事は、皆さんもご存じ、「おかめ納豆」でおなじみの県内の食品メーカー「タカノフーズ株式会社」の紹介記事です。新聞には、経済面などに、会社の仕事内容や求める人材等を紹介する就活コーナーがあったりします。今回紹介したのは読売新聞ですが、地元の茨城新聞にも地元企業を紹介するコーナーがありますので、是非、読んでみてください。

記事によると、タカノフーズは納豆市場でトップシェア(占有率)を誇り、近年の健康志向の高まりもあり、昨年の市場規模は過去最高の2497億円。来年冬には、県内に新工場も稼働させるそうです。そんな地元の優良企業タカノフーズが求める人材とは、人事・総務の津田さんによると、「納豆のように粘り強く、協調性があり、新しいことに果敢に挑戦する意欲的な人」だそうです。皆さんも、参考にしたいかが?



タカノフーズ(茨城県小美玉市)
人事・総務 津田 昂太郎 さん 25

納豆市場トップシェア

1932年創業の「おかめ納豆」でおなじみの食品メーカーです。納豆市場でトップシェア(占有率)を誇っています。約2200種類の納豆菌を保有しており、2年前に発売した「すごい納豆S-903」は、免疫への作用が期待できる納豆菌を使ったヒット商品です。

近年の健康志向の高まりで、納豆の売り上げは右肩上がり。昨年の市場規模は2497億円で過去最高でした。当社の営業拠点は全国に19か所、納豆と豆腐の工場が協力工場を含め11か所ありますが、需要に応えるため、来年冬に茨城県内に新工場を稼働させます。

仕事の内容は主に営業、研究、



技術に分かれます。入社後、半年間の研修で各職種を体験し、商品がどうやって作られ販売されているのか学びます。本人の希望などによって研究から営業へ、製造から



研究へ異動することもあり、可能性を狭めないようにしています。

正社員数は322人で、今春は大学生・大学院生9人を新卒採用しました。主に東京で説明会と面接を行います。納豆のように粘り強く、協調性があり、新しいことに果敢に挑戦する意欲的な人に来てほしいです。